

蓄電池政策に係る令和5年度当初予算案概要①

(1) 国内製造サプライチェーンの強靱化

⇒令和4年度補正予算 グリーン社会に不可欠な蓄電池の製造サプライチェーン強靱化支援事業において措置

(2) 上流資源の確保

① 鉱物資源開発の推進のための探査等事業委託費【令和5年度予算案額：18.6億円】

蓄電池等の製造に必要な鉱物資源で、将来、需給の逼迫が懸念されるリチウム・ニッケル等について資源探査を実施。有望な調査結果が得られた場合には、開発権利等を我が国企業に引き継ぎ、我が国企業による資源開発を促進することで、供給源の多角化を図り、鉱物資源の安定供給確保を目指す。

② (独) エネルギー・金属鉱物資源機構出融資等事業【令和5年度財政投融资予算案額：901億円】

金属鉱物資源開発については、民間企業だけで行うにはリスクが大きすぎることから、民間金融を補完し、蓄電池等の製造に必要なリチウム、ニッケル等の鉱物資源の安定供給確保を図るため、探鉱に必要な資金の出資・融資及び開発に必要な資金の出資・債務保証等を行う。

(3) 次世代技術の開発

① 次世代全固体蓄電池材料の評価・基盤技術の開発事業【令和5年度予算案額：18億円】

全固体リチウムイオン蓄電池の早期社会実装と普及に向け、標準電池モデル等の材料評価共通基盤を整備する。また、電池内部で起きているミクロな現象や劣化機構をサイエンスを用いて解明し、耐久性の高い電極・セルを製造するための新材料提案など、要素技術開発を行う。

② 電気自動車用革新型蓄電池技術開発【令和5年度予算案額：24億円】

大学、国研、材料・蓄電池・自動車メーカーで構成される産学・企業間連携体制を構築し、革新型蓄電池（ハロゲン化物電池、亜鉛負極電池）の実用化を目指す。

蓄電池政策に係る令和5年度当初予算案概要②

(4) 国内市場の創出

- ① **系統用蓄電池等の導入及び配電網合理化等を通じた再エネ導入加速化事業【令和5年度予算案額：40億円】**
電力系統に直接接続する大規模蓄電池（系統用蓄電池）等を導入する事業者等へ、その導入費用の一部を補助。
- ② **蓄電池等の分散型エネルギーリソースを活用した次世代技術構築実証事業【令和5年度予算案額：46億円】**
電池等分散型エネルギーリソース（DER）の電力市場等での活用拡大に向け、DER制御技術の高度化に向けた実証に活用することを条件に、蓄電池の導入費用の一部を補助。
- ③ **需要家主導による太陽光発電導入促進補助金【令和5年度予算案額：105億円】**
太陽光発電により発電した電気を特定の需要家に長期供給する等の一定の要件を満たす場合の設備導入を支援。令和5年度から新たに蓄電池併設型の設備導入について支援を拡充。
- ④ **グリーンエネルギー自動車・インフラ導入促進補助金【令和5年度予算案額：300億円】**
電気自動車等の購入費用の一部補助や充電設備等の購入費及び工事費を補助。

(5) 人材育成・確保の強化

産業技術研究開発人材育成事業【令和5年度予算案額：2.8億円】

（国立研究開発法人産業技術総合研究所運営費交付金【618億円】の内数）

大学生、大学院生、ポストドクター、企業の技術者等に対して、産業技術総合研究所において、高度分析装置や電池製造設備など実機も活用した教育プログラムを実施することで、高度な材料分析技術、電池生産技術を有した研究者・技術者を育成する。